



羽村市
議会だより
9月定例会号

愛情ギュッとず〜っとはむら

びかいのトビラ



【特集】市民インタビュー
パソコンを通して広がる輪
新たな学びへのチャレンジを親切にサポート
パソコンなかま

P2

No.135
令和3年(2021年)
11月1日発行
(通巻244号)

●令和2年度決算審査	P4
●審議した主な議案	
市長提出議案	P10
委員会提出議案	P11
●議案の議決結果	P12
●市政について問う	
《一般質問》	P14
●議会活動報告	P23

パ

ンコンを通して広がる輪

新たな学びへのチャレンジを親切にサポート

パソコンなかま



▲わからないことはスタッフがサポート（ゆとろぎ講座室）

「パソコンなかま」は、新たにパソコンを学ぼうとする方やパソコンの技術をさらに進歩させたいという方に、ゆとろぎで講座を行っています。パソコンを通じて市民の皆さんの新たなチャレンジや仲間づくりを支援する「パソコンなかま」の皆さんにお話を伺いました。

「パソコンなかま」とは、

活動のきっかけは

並木 一夫さん（代表）



私は結成当初からのメンバー。初代会長の後を引き継ぎました。現在会員は8人でそれぞれが※ワードやエクセルなど得意分野の講座を担当します。教材は講師の手作りで、月1回作成しています。仲間に支えられて楽しくやっています。

関澤 和代さん



20年前、国の施策の一環で主催のパソコン講習会が開催されました。この講習会のフォローアップをする会として「パソコンひろば」が発足、そのボランティアとして参加したのがきっかけ。その後、パソコンを通して仲間をつくるというこうと名称を変更して「パソコンなかま」が発足し、今に至ります。

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思っています。今回は総務委員会が担当しました。

平林 陽子さん



定年退職して孫の面倒を見ていたが、暇だったので市の講座に参加。良い仲間に恵まれて、パソコンの技術が進歩し、楽しさがわかり、今は初心者の方々にその楽しさを教えています。



▲とてもわかりやすい手作りの教材

【表紙の写真】
（令和3年10月撮影）
徐々に再開したパソコン講座
（ゆとろぎにて）

※写真撮影時のみ、マスクをはずしています。

木内 滋さん



退職して

新しいことをやってみようと思ひ、受講生として

に参加した際に、声をかけてもらったのがきっかけ。エクセルを担当しています。受講生10人に対しスタッフ8人で、その技術に合うよう指導できる場合は、他のパソコン教室ではあまりないと思います。

宇津木 節子さん



市の講座

に参加してパソコンに興味を持ちました。山

に行った時の写真や記録を自分で作ったりしていたら、山の仲間を誘われて入会し、今まで技術を学んできました。山の会の記念冊子や体操の記念誌、同窓会誌など作れるようになります。



▲手がけられた冊子

「何回聞いてもいいですよ」

のスタンスで

並木 緊急事態宣言中は開催できていないが、通常は、4月から11月まではワード中心の講座。そのほか、エクセル、*パワーポイント、インターネットの使い方など、1年間のコースを組んで個々の要望・熟練度に合わせて指導しています。

関澤 講座を受けている方の年齢は、30代〜50代が25%、60代〜70代が75%。男女比は女性が75%くらいです。

宇津木 最近が高齢の方の参加が多く、講座に来ることを楽しみに来てくれています。80歳になって初めて来る方もいて、いくつになってもチャレンジする姿は素晴らしいです。

関澤 自分がパソコンを始めた時、わからないことが多く、娘に何回も聞きました。講座に来る方は不安も多いので、「1回聞いても忘れますよね、みんな一緒です。何回聞いてもいいですよ。」というのが私たちのスタンス。それが「パソコンなかま」なんです。

全員が講師、教える楽しみや

苦労することは

木内 超慎重派の方など、生徒さんの個人差があり、大変な時もあります。意欲のある方や人間的に見習うような方もいて、こちらも勉強になります。

関澤 アイコンが消えたり、思いもよらない画面になったりしている方がいて、その都度、解決方法を調べて対応しています。

並木 コツコツと家で練習して下さる方もいて、タイピングがどんどん早くなっていき、嬉しいですね。

今後の課題、進む道は

関澤 ワクチン接種の予約など高齢者の皆さんが苦労されている様

子を見て心苦しかったです。緊急事態宣言中は講座を開かないこと

としましたが、何かお手伝いできたのではないかと。これから先、市民に対して何か私たちが取り組めることがあればいいです。

平林 コロナが早く収束してパソコン講座が今までのようにできると思います。

宇津木 OS（基本ソフトウェア）が新しく変わると、それに対応できるように私たちも勉強しないといけないです。次もあまり変わってないと思いますが。

並木 私は81歳になります。若くないと言いつつも、新しいことを勉強して続けていきたいと思っています。

パソコンなかま

毎週金曜日、午前と午後の2時間ずつ、パソコン講座を行っています。

活動場所 ゆとろぎ講座室

会員 8人

連絡先 042-555-1489 並木

講座は、月4回2,000円。講座の申込みは「ゆとろぎイベントガイド」(全戸配布・隔月発行)をご覧ください。お問い合わせください。

インタビューを終えて

.....
デジタル化の進展に伴い、さらに情報格差が拡大する可能性があり、皆さんのニーズが高まると感じました。仲間が集うことや新たにチャレンジすることが、若返りや人生を楽しくすることにつながるのですね。皆さんの笑顔が会の楽しさを物語っていました。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

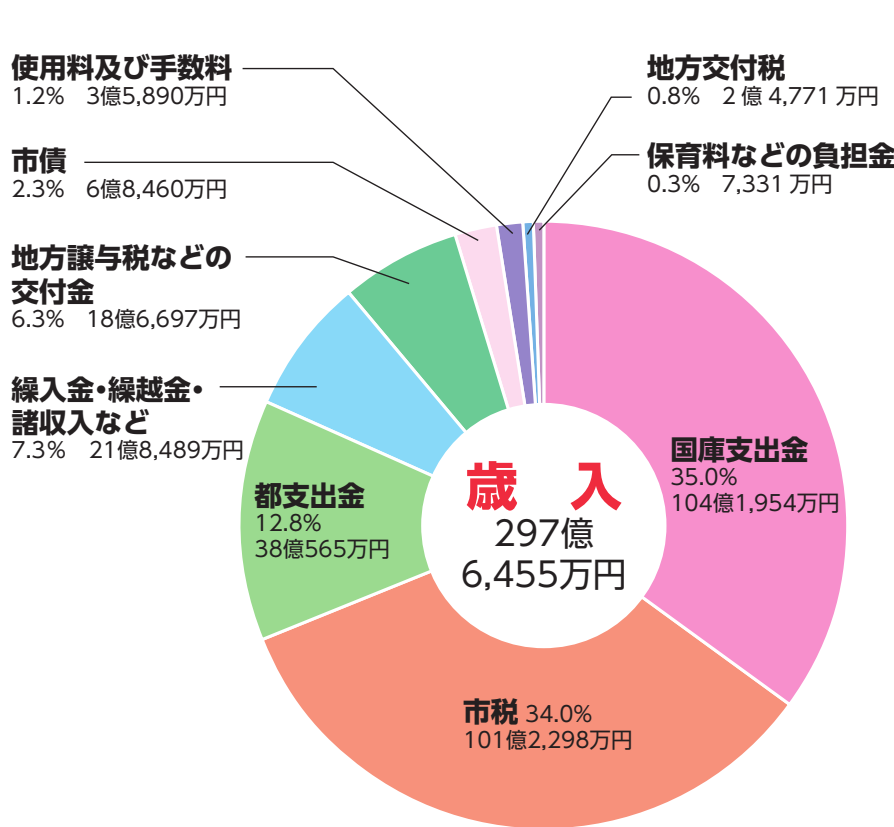
*ワード、エクセル、パワーポイント…マイクロソフト社が提供するソフト

9月21日、22日の2日間にわたり、令和2年度一般会計等決算審査特別委員会を開催しました。（山崎陽一委員長、大塚あかね副委員長）

市長から提出された前年度の一般会計、特別会計および公営企業会計の決算の認定に係る議案について、予算の執行が適正かつ効果的・効率的に行われたかなどを審査しました。

その結果、すべての会計の決算を認定すべきと決定しました。審査結果を、最終日の本会議で報告し、7つの会計すべてを認定しました。

特別委員会での審査の概要をお知らせします。



一般会計

前年度と比較して**28.8%**（66億5803万円）増加

新型コロナウイルス感染症対策に伴う特別定額給付金などの各種補助金が増加

市民税法人分は**45.2%**の減少

景況の悪化が市内企業の業績に影響

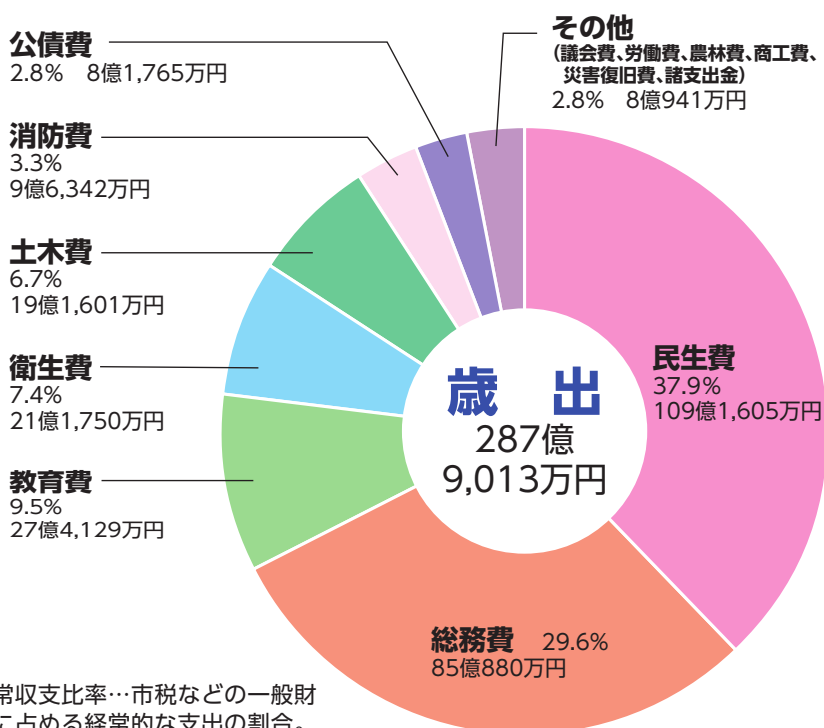
令和2年度一般会計および特別会計の決算状況

（単位：万円）

区分	予算現額	歳入決算額 (実際の収入)	収入率 (予算現額に対する歳入の割合)	歳出決算額 (実際の支出)	執行率 (予算現額に対する歳出の割合)	歳入歳出差引額	
一般会計	3,002,454	2,976,455	99.1%	2,879,013	95.9%	97,442	
特別会計	国民健康保険事業	594,808	578,311	97.2%	560,107	94.2%	18,204
	後期高齢者医療	134,158	134,261	100.1%	131,712	98.2%	2,549
	介護保険事業	395,898	387,487	97.9%	373,419	94.3%	14,068
	羽村駅西口土地区画整理事業	194,252	160,707	82.7%	150,510	77.5%	10,197

過去最大の決算額となる 令和2年度決算を認定

経常収支比率が5年連続100%を超え、
厳しい財政運営が続く



前年度と比較して28・0%（63億340万円）増加
 新型コロナウイルス感染症の対策費が増加
 性質別経費は、扶助費や人件費などが増加
 障害福祉サービス費や生活保護費などの扶助費、
 会計年度任用職員制度の創設等により人件費が増加

※経常収支比率…市税などの一般財源に占める経常的な支出の割合。26市の平均は90.6%。



決算認定までの流れ

会計管理者が決算を調製し、市長に提出。

市長は、決算について監査委員の審査を受け、監査委員の意見書を添付して決算を議会に提出。

本会議
議会（9月定例会）
決算審査特別委員会を設置し付託。

本会議
特別委員会での審査結果を本会議で委員長が報告。
委員長報告に対する質疑・討論を経て、会計ごとに採決。

決算審査特別委員会
決算について、収支が適法であったか、正当に執行されたか、予算編成時に期待された行政効果が達成されたか、などを審査。質疑・討論を経て、会計ごとに採決。

決算認定



委員の質疑

一般会計歳入

Q 市民税法人分は、前年度の7億1404万円から3億9102万円へと前年度比45・2%の減少となっている。業種別の動向は。

A 法人税割の状況は、製造業の税収が一番多いが、大幅に落ち込んだ状況である。次いで、卸売業・小売業、建設業の税収が多い。

Q 市民税法人分が4億円を下回る厳しい状況である。過去に4億円を下回ったことはあるか。

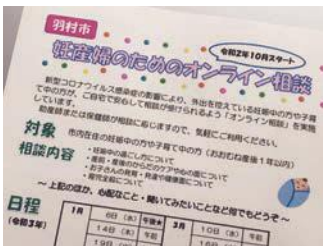
A 直近では下回ったことはない。
Q 市民税法人分が予算の見込み額より下回ったのは、コロナ禍の影響か。



学校に配布された端末



聖火リレートーチの巡回展示



オンライン相談がスタート

A コロナ禍の影響において企業の業績が落ち込んだものと捉えている。

Q コロナ対策として交付された国庫補助金は、市としてどういう視点で活用したか。

A 国の示す「地域未来構想」を参考に、事業者支援、学校のICT化、市民生活支援などに活用した。

一般会計歳出

福祉・健康

Q オンラインを活用した妊産婦相談を23回開催したが、利用者が1人だった要因は。

A 広報等で周知したが、オンラインの利用経験がない方が利用に踏み切れなかったことや、事前予

委員の討論(一般会計)

賛成

限られた予算の中で市民福祉の向上が図られた

GIGAスクール構想の進展、ワクチン接種プログラムの立ち上げ、はむりんスクラッチ2020の発行支援、羽村駅西口土地区画整理事業の着実な進展、オリンピック・パラリンピックの気運醸成、キルギス共和国友好親善事業等の各種事業を限られた予算の中で行い、市民福祉の向上が図られたものと認められるため、賛成。

<新緑会>

反対

予算の問題点があるままであり、決算にも反対

令和2年度予算審査の際、市税が減少するなか、西口土地区画整理事業には前年度比99%増の予算を計上する一方、町内会助成金、敬老金、図書館の書籍費の削減や、道路改修を先送りするなどの問題点や、市民への説明不足を指摘し反対した。コロナ禍への対応に熱心に取り組まれたが、指摘した予算の問題点はそのままであり、決算にも反対。

<日本共産党>

一般会計については、5件の討論があり、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

● 討論とは…本会議や委員会、表決の前に、議題となっている案件について、賛成か反対の意見を表明することをいいます。

令和2年度の主な事業

【子ども・生涯学習】

- ◆妊娠・出産・子育て包括支援拠点(子育て包括支援センター)の運営
- ◆第二次生涯学習基本計画の策定

【市民生活】

- ◆風水害対策の充実(防災非常用蓄電池、可搬式大型エンジンポンプなどの購入)
- ◆災害時の情報伝達手段の強化(固定系防災行政無線のデジタル化整備工事)

【環境・都市整備関係】

- ◆羽村駅西口土地区画整理事業の推進
- ◆グリーントリム公園の整備

【行財政運営】

- ◆第六次羽村市長期総合計画の策定

【オリンピック・パラリンピック】

- ◆東京2020大会の気運醸成、市民意識の高揚を図る取り組みの推進

約制であったため、即時性にかける部分があったと考える。

Q コロナ禍のもと、生活保護の申請者が減少しているのはなぜか。

A 住居確保給付金など、他制度を活用した市民が多かったためだと考えている。今後、生活保護の申請が増える可能性もある。

Q インフルエンザ予防接種委託料が、大幅に増額しているが、どのような理由か。

A 例年、65歳以上の方に自己負担2500円で接種を行っていたが、東京都が早期接種を促すことを目的に、自己負担分の補助を行ったことにより、接種者が37

50人近く増加したため。

■オリンピック・パラリンピック

Q 東京2020大会の気運醸成について、イベントなどが中止になる中、市民にどのように伝わったと考えているか。

A 事前キャンペーンの誘致は以前から取り組んでおり、2018年、2019年と受入れを実施することができた。また、聖火リレーのリハーサルの実施など、他自治体ではできなかったことを実施し、レガシーづくりのきっかけになったと考えている。

賛成

経常収支比率のさらなる改善と市民福祉の向上を

経常収支比率が5年連続で100%を超え、依然厳しい財政状況にある。その中で、第五次長期総合計画の後期基本計画に掲げた事業を積極的に取り組んできた。全事務事業の点検・見直しをはじめとした行財政改革の取り組みを強力に実行し、経常収支比率のさらなる改善など、財政の健全化に努めながら、市民福祉の向上に取り組んでいただきたい。

<新国会>

賛成

感染症対策や市民・事業者への政策を評価

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症との戦いに開始した年度であり、感染症対策に対するスピード感が問われた一年であった。その中で、市民や事業者のための政策を進め、ワクチン接種の体制づくりを始めるなど、よく取り組んできた。しかしながら、財政状況は依然と厳しく、財政再建を大胆に取り組んでもらいたい。

<公明党>

反対

コロナ禍で市民税は減収、区画整理への支出は反対

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、市民税が大きく減収となった。特に法人分は過去最大の落ち込みとなり、個人所得の減少は暮らしの厳しさを浮き彫りにした。事業の見直しは必須であったが、羽村駅西口土地区画整理は最重要課題に位置付けたまま、一般会計から7億2,290万円も支出していて認められない。

<市民ネットワーク>

■安全・安心

Q 道路舗装修繕実施プログラムは令和4年度が完了年であるが、令和2年度の進捗状況は。

A 27・4%である。期間内に100%達成することができないため、今後プログラムの見直しを図って計画を作成していく。

Q 庁舎に設置されているAEDは、どのような判断で購入ではなく、リース契約にしたのか。

A リース契約は、メンテナンスも含めて契約するため、専門業者にパッドやバッテリーの点検をしてもらうことができることから、リースとしている。

■くらし

Q グリーントリム公園の改修は、



市役所に設置されているAED



幼児が遊びやすい公園へ改修(グリーントリム公園)



学校に導入したタイムレコーダー

どのようなコンセプトで行ったか。

A 市内には、幼児が遊べるような公園が少ないため、近隣の保育園や幼稚園と意見交換を行い、幼児向けの遊具を設置し、小さな子どもが遊べるような公園とした。

Q 集会施設のトイレ洋式化工事は、どの施設が行われ、洋式化率はどのくらいになったか。

A 中央館、栄会館、三矢会館、小作本町会館、緑ヶ丘会館、小作台東会館、川崎会館、小作台西会館を行い、洋式化率は83%である。

Q 創省エネルギー化助成金の利用状況はどうだったか。

A 前年度43件から61件へと大きく増え、さらに、数件のキャンセル待ちが生まれた状況であった。
Q 市内事業者の受注機会を作ることに、どのように取り組む

んだか。

A 市内業者優先の指名基準を規定している。各担当が物品調達する場合は、まず市内業者に見積もりを取るよう取り組んだ。

■教育

Q GIGAスクール構想の実現に向け、オンライン授業を行うための体制づくりをどう取り組んだか。

A 令和2年度は、一人一台端末と校内ネットワークの整備をするなど学習環境を整えることに注力

した。また、学校での活用方法については、先生方に検討していただいた。

Q 各学校へのタイムレコーダーの導入により、教員の働き方が変わったことがわかるような実績を報告するべきでは。

A 教員の残業時間などの実績報告は、毎月校長会でやっている。事務報告書への掲載は、今後検討していく。

委員の討論(国民健康保険事業会計)

反対

保険税の負担が重すぎる、安心してかかれる医療を

国民健康保険税は今回の改定で一層引き上げられた。両親40歳以上、子ども2人の年間所得200万円の4人世帯では、保険税は28万8,700円から30万400円に、1万1,200円値上げされ、所得の15%にのぼり、負担が重すぎる。都道府県知事も国保税は高すぎると国に1兆円の補助をすべきと要請した。以上の理由で決算の認定にも反対する。

<日本共産党>

特別会計 歳入・歳出

■後期高齢者医療会計

Q 都内の住所異動に住所地特例制度がないことによる、区市町村間の財政的な不均衡を回避するための区市町村支援事業補助金が創設されたが、不十分と考える。今後の取組みは。

A 補助金により一定の改善はされたが、不均衡が完全に解消されなかったわけではないので、今後も他市町村と連携を図り、国へ制度改革の要望を続けていく。

■介護保険事業会計

Q フレイル予防体操教室や認知症予防後援会などコロナ禍でも参加者が増えているが、希望者全員が受けられているか。

A 申し込みした方は全員参加できている。感染予防対策をしっかり行い事業を開催した。

■西口土地区画整理事業会計

Q 令和2年度に建物移転した件数とエリアは。

A 川崎地区が3棟、羽村大橋周

辺が33棟の36棟であり、全て再築工法で行った。

■水道事業会計

Q 耐震性の向上を図るための配水管布設替え工事と管種替え工事について、令和元年度と比較して令和2年度の耐震性の割合は。

A 耐震性を満たす水道管路の割合は、令和元年度が23・3%、令和2年度は24・3%である。

■下水道事業会計

Q 令和2年度に策定した「下水道ストックマネジメント計画」は。

A 汚水管やマンホール蓋の更新について、長期的な視野で計画的に点検、調査、補修し、財源の平準化をはかり、適切な維持管理を行っていくための計画としている。

※内容は要約しています。詳細は会議録をご覧ください。

インターネットで会議録をご覧ください。

なる場合は、

「羽村市議会」

↓「会議録の検索と閲覧」

↓「令和2年度一般会計等決算審査特別委員会」

委員の討論(羽村駅西口土地区画整理事業会計)

反対

多額な市費を投入する事業は、即刻検証すべき

広い道路を造るため、1000棟を取り壊す区画整理は戦時中の「建物強制撤去」と同じで権利者が苦しんでいる。事業費16億円は、前年度の1.7倍である。東京都都市づくり公社への高額な委託料に加え、厳しい財政状況にも関わらず、事業の前倒しで年間市費を10億円、1日あたり300万円を垂れ流すこの事業は、前市長の遺物である。即刻検証を求めて決算に反対。<世論>

賛成

市の将来にとって重要な事業、着実な推進を

令和2年度の西口土地区画整理事業会計の根幹となる業務委託費を見ると、補助金を可能な限り活用し、市民負担軽減が図られていることが伺える。西口土地区画整理事業は、さまざまな視点から羽村市の将来にとって大変重要な事業である。厳しい財政状況下においても優先順位をつけ、着実に事業を推し進めていく必要があると考える。

<新公会>

国民健康保険事業会計、羽村駅西口土地区画整理事業会計にはそれぞれ討論がありました。その他の会計については、賛成・反対の討論はなく、全会一致で認定すべきと決定しました。